

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	現代舞踊
----	----	----	------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぽんしゃだんほうじん じえねしすおぶえんたーていめんと 一般社団法人 ジェネシスオブエンターテイメント	団体ウェブサイトURL	https://genesis-art.com/new_site/index.html
代表者職・氏名	理事長 坪田建一		
制作団体所在地	〒 541-0051 大阪市中央区備後町4-2-3 サラヤ本町東ビル5階	最寄り駅(バス停)	大阪メトロ御堂筋線 本町駅
電話番号	090-4030-9540		
ふりがな 公演団体名	いっぽんしゃだんほうじん じえねしすおぶえんたーていめんと 一般社団法人 ジェネシスオブエンターテイメント	団体ウェブサイトURL	https://genesis-art.com/new_site/index.html
代表者職・氏名	理事長 坪田建一		
公演団体所在地	〒 541-0051 大阪市中央区備後町4-2-3 サラヤ本町東ビル5階	最寄り駅(バス停)	大阪メトロ御堂筋線 本町駅
制作団体 設立年月	1997年 9月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長 坪田建一 理事 佐藤洋文 理事 寺本絵理		
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	坪田建一・吉田実納
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	吉田実納

制作団体沿革	<p>1999年 読売光と愛の事業団福祉活動奨励賞 2006年 大阪府人権活動奨励賞 2006年 車いすダンススポーツ競技大会にて文部科学大臣賞を鈴木剛・蛭池千尋組が受賞 2007年 産経市民の社会福祉賞 2007年 大阪スポーツ賞 車いすダンスの部を鈴木剛・蛭池千尋が受賞 2010年5月 第4回大阪商工信用金庫社会福祉賞奨励賞を受賞 2013年より文化庁との連携により大阪府などの小中学校へ車いすダンス芸術鑑賞で訪問する活動を開始。 2014年3月 書籍「風のHEROES—車いすダンスの軌跡」を星湖舎より出版 2014年10月 メンバーがインチョンアジアパラ競技大会 車いすダンスの部に日本代表として出場 2015年4月 現在車いすダンススポーツ全日本選手権優勝 兼 世界選手権大会8位の選手を輩出している。 2016年6月 総理官邸にて、日本ではじめて車いすダンスを披露。 2017年9月 奈良県国民文化祭・障害者芸術祭 皇太子同妃両殿下の御前にてダンス披露。両殿下よりお言葉掛けを賜る(2日間2回に渡り、同妃両殿下の行啓を担当する) 2018年 「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 2019年 2018ジャポン×フランスプロジェクト ジャポニスム2018響きあう魂 フランスパリ公演 2019年10月1日 一般社団法人としてスタートする。 2020年 2020 ICU 世界チアリーディング選手権大会 アダプティブアビリティーユニファイドヒップホップ部門 日本代表 2022年 日本テレビ放送(全国放映) 24時間テレビ45 会いたい 両国国技館ステージメイン企画にて車いすダンス出演</p>			
学校等における公演実績	<p>1997年(平成9年)より学校公演実績あり 累計420公演 大阪府を中心に近畿圏、福岡県、広島県、福井県、愛知県、神奈川県、東京都などで車いすダンス公演会を実施してきました。 特に直近に関しましては、コロナ禍の影響を受けまして、文化庁文化芸術による子供育成推進事業以外での公演機会は減少しております。</p> <p>(直近) 2016年度 広島国際大学など、全国20公演 2017年度 大阪府、東京都など 10公演 2018年度 大阪府、奈良県など 18公演 2019年度 大阪府を中心 14公演 2020年度 大阪府を中心 9公演 2021年度 大阪府を中心 4公演</p>			
特別支援学校等における公演実績	<p>大阪府立堺支援学校 福井県立特別支援学校 尼崎市立あまよう特別支援学校</p>			
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	無		
	※公開資料有の場合URL			
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:		
		PW:		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人 ジェネシスオブエンターテイメント】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	○	
企画名	共に生きる～車いすダンス公演		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>・映像上映①車いすダンスの紹介 ・車いすダンス①～③曲を披露 ・今日の時間のご案内 ・障害のある人の講話 ・車いすダンス体験 ・車いすの種類、介助方法のレクチャー ・障害のある人とならない人の講話 ・映像上映② ・車いすダンス④～⑥曲を披露</p> <p>※実施校様からのご要望がありましたら、随時質問の時間など柔軟に対応します。 ※また学年によって取り組んでいる学習と本公演が繋がりがあある場合、ご要望にて公演後、クラス単位でも対話をします。 またご要望がありましたら、時間の許す限り、悩みのある児童生徒さんと対話をします。</p> <p style="text-align: right;">60～120 分</p>		
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当コンテンツ名 ダンス使用音源
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況 採択後手続き予定
演目概要	<p>共に生きる～車いすダンス公演 日本、世界で活躍実績のある車いすダンサーが児童の目前で迫力あるダンスを披露し、身体に不便のある人やいま心に元気が必要なすべての生徒さんへ、文化芸術を通じて希望と諦めない勇気をお届けします。 また障害のある人とならない人が共に公演にて表現することで、2020年東京オリパラのレガシーとして、現代の時代に合った文化芸術の持つ共生という可能性の拡がりや期待を、鑑賞した子どもたちに実感してもらえたらと願っております。</p>		
演目選択理由	<p>障がいのある人とならない人で踊る車いすダンス公演を舞台衣装と照明演出を行い文化芸術公演として開催する。 ①活動ビデオの上映 ダンス出演映像を上映し、実際のダンス披露の前に紹介しより期待感を広げる ②車いすダンス①～③曲を披露 アップテンポの曲を披露することで会場全体を明るく前進します。 ③障がいのある人とならない人の講話 障害のある人がどのような障害があり、友達との出会いからどのように生きてきたのかをお話します。 ④児童と教員による車いすダンス体験 実際に車いすに乗ってダンスを体験 教員に体験してもらえらることで車いすに乗る体験を身近にし、会場全体の参加を活性化します。 児童の体験では参加児童数によって複数回の体験機会を設けます。 ⑤車いすの種類、説明、介助方法レクチャーと値段当てクイズ 病院で見かける介助用車いすとダンス用車いす。どのように機能性の違いがあり種類選択方法があるのかなど、従来の授業での車いす体験などでは知ることができない視点を当事者が子どもたちに伝えることでより知る機会の拡充をし実際に対応できる力を育む。 ⑥障害のある人とならない人の講話 障害のある人とならない人が違いのある人同士が、共に生きることの価値について、自分の人生から大切にきた経験を伝え明日を生きる力を届けます。 ⑦車いすダンスの披露 ④～⑥曲を披露</p>		
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>①ワークショップでは車いすダンス体験をできるだけ多くの参加生徒(児童)に経験してほしいと願っております。 ②児童・生徒の共演は車いすダンス体験で実際に行ったダンスを披露して頂くことで共有する一体感を全員で分かち合うことを目標としております。</p>		
出演者	<p>※NO.2 別紙メンバー表を添付いたします。 ※出演者が車いす利用者でありますことから、介助(トイレ、衣装着替え、車いすほか移動全般)を含めまして、スタッフが若干多く必要となっております。</p>		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 8 名 スタッフ: 5 名 合計: 13 名以内	運搬	ミニバン、乗用車など 積載量: t 車長: m 台数: 5 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間			時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～10時30分	11時～12時30分	なし	13時～14時30分	14時45分
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。					

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	15日	14日	9日	16日	17日	
	11月	12月	1月	計	121日	
	17日	17日	16日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	10名
		鑑賞人数目安	400名前後 実情に応じて対応します



車いすダンス体験に挑戦の様子◀◀◀

実際の体験の中から、不便さだけではなく、前向きに楽しめる工夫を想像できる感性を友達と一緒に協働していきます。同時に障がい者の文化芸術公演の堅いかもという従来のイメージを講話と先生児童の皆さんとのダンス体験でほぐし、生徒さん一人ひとりの心に文化芸術の喜びを近づけていきます。

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採択団体へ図面等詳細の提出をお願いします。



ダンス披露の様子▶▶▶障がいのある人とない人が、迫力ある創作ダンスやアップテンポの曲でスタートし、終盤は荘厳なダンスで公演の時間を深く子どもたちの心へ届けられるよう演出します。※参考提出動画よりも現時点にて照明演出機材は増加しております。※演技スペース 基本は体育館フロアを使用 横：12M×縦：8M ※舞台使用の場合：横10M×奥行5M以上

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20名前後
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>(内容) 公演前後、または当日において教職員・児童・生徒と出演者が車いすダンス体験を実施し交流を図ります。ダンス体験用車いすに乗り、車いすに座る側、立つ側2名が一組となり、一緒にダンス体験をすることで、障害の補助としての車いすから先に楽しさを実体験してもらえることで、障害のある人の日常生活への不便や配慮の必要性など、街や人、社会のあり方へと、共に生きる為のヒントなどをイメージしてもらえる時間を提案します。 ※教職員体験者数:4名前後 児童・生徒体験者数:10名前後 ・車いす体験時介助の方法のレクチャー ・車いすの種類の説明体験コーナー ・車いすの種類と購入する為の社会制度 ・車いすの種類の説明と値段当てクイズ!(介助用、日常用、スポーツ用)</p>		
<p>ワークショップの ねらい</p>	<p>(目的とする効果) ・車いす自体が障害を補う物としての視点から、自分の可能性を追求できるプラス思考の物であることの認識を持ってもらい、病気怪我などの状況に遭ったとしても、人としての生きがいやスポーツ、文化交流などの機会は失われることなく、これでもできる、あれも挑戦できる可能性を実感してもらいたい。 ・実際に車いすダンスを体験することで、障害のある人の生活を想像する力、体験を自分に置き換える感覚を獲得できる時間を創る。 またそこから街づくりのあり方、身近な不便のある人達への自分の関わり方を発見し、行動へと繋げていきたい。 ・学校学年単位などで、野外地域、校内での車いす体験はしている学校もあるが、実際に介助をする上で工夫やポイントなど障害のある人が説明を行うことで習得をしてもらえる時間を創る。 ・ダンス体験にて、車いすに乗る側、立つ側の体験をすることで自分と違う他者との協働の難しさを感じるだけでなく、その先にある違いに寄り添い、優しさや受け止めて、一緒に共に生きる豊かさを感じることで、児童生徒の心の豊かさを育む。</p>		
<p>その他ワークショップに 関する特記事項等</p>	<p>○車いす1台につき、座る側1名、立って踊る側1名＝合計2名で体験を行います。 ○車いすダンス体験用の車いすにつきまして:実施開催校様に車いすのご用意をお願いしております。無償にて借りられる機関など、ご案内いたします。</p>		